

# YAGI REPORT



## 第106期 年次報告書

平成29年4月1日▶平成30年3月31日



株式会社ヤギは平成30年10月に創業125年を迎えます

証券コード：7460

### 株式の情報 (平成30年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 45,568,000株
- 発行済株式の総数 10,568,000株
- 株主数 1,401名
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
ヤギ共栄会	897 (千株)	10.89 (%)
株式会社みずほ銀行	410	4.98
株式会社三井住友銀行	380	4.61
ピービーエイチ フィデリティ ビューリタン フィデリティ シリーズ インタラクティブ オポチュニティズ ファンド	375	4.55
バンク オブ ニューヨーク シーエム クライアント アカウン トジェニアル アイエスジー エフイーエスイー	325	3.95
ゴールドマン・サックス インターナショナル	314	3.81
株式会社三菱東京UFJ銀行	305	3.70
ヤギ従業員持株会	290	3.52
第一生命保険株式会社	250	3.03
クロスプラス株式会社	229	2.78

(注) 持株比率は自己株式(2,320,931株)を控除して計算しております。

### 会社概要 (平成30年6月28日現在)

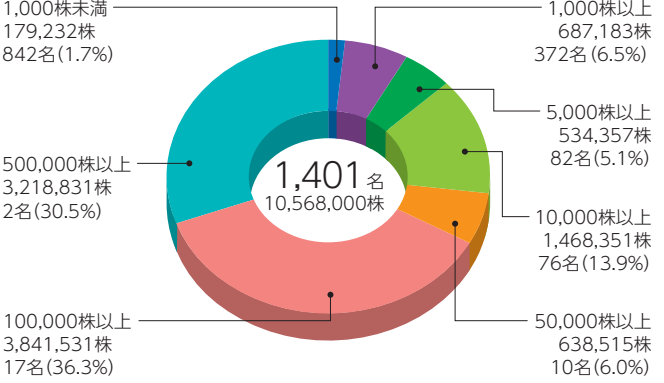
会社の概要  
 社名 株式会社 ヤギ  
 英文社名 YAGI & CO.,LTD.  
 創業 明治26年10月16日  
 設立 大正7年4月28日  
 資本金 1,088,000,000円  
 主な事業内容 綿化繊維、合繊維、綿化繊維物、合繊維物、ニット生地および衣料品等の各種繊維二次製品の国内販売ならびに輸出入  
 主要な事業所 (国内) 本社 大阪市中央区久太郎町二丁目2番8号  
 東京本社 東京都中央区日本橋小網町18番15号  
 支店 福井(福井市)  
 出張所 名古屋(名古屋市)  
 営業所 和歌山(和歌山市)  
 (海外) 駐在員事務所 上海(中国)  
 ホーチミン(ベトナム)  
 ハノイ(ベトナム)  
 バンコク(タイ)  
 ダッカ(バングラデシュ)

### 役員一覧 (平成30年6月28日現在)

代表取締役社長	八木隆夫
取締役 社長	戸隆之
取締役 役員	山岡一朗
取締役 役員	馬渡武継
取締役 役員	杉本富雄
取締役(常勤監査等委員)	岡弘康
取締役(監査等委員)	大原弘幸
取締役(監査等委員)	池田佳史
取締役(監査等委員)	塩田修
取締役(監査等委員)	熊谷弘

(注) 取締役池田佳史、塩田修及び熊谷弘は、社外取締役であります。

### ● 所有株数別分布状況



(注) 本年次報告書中の記載金額および株式数は表示単位未満の端数を切り捨てております。

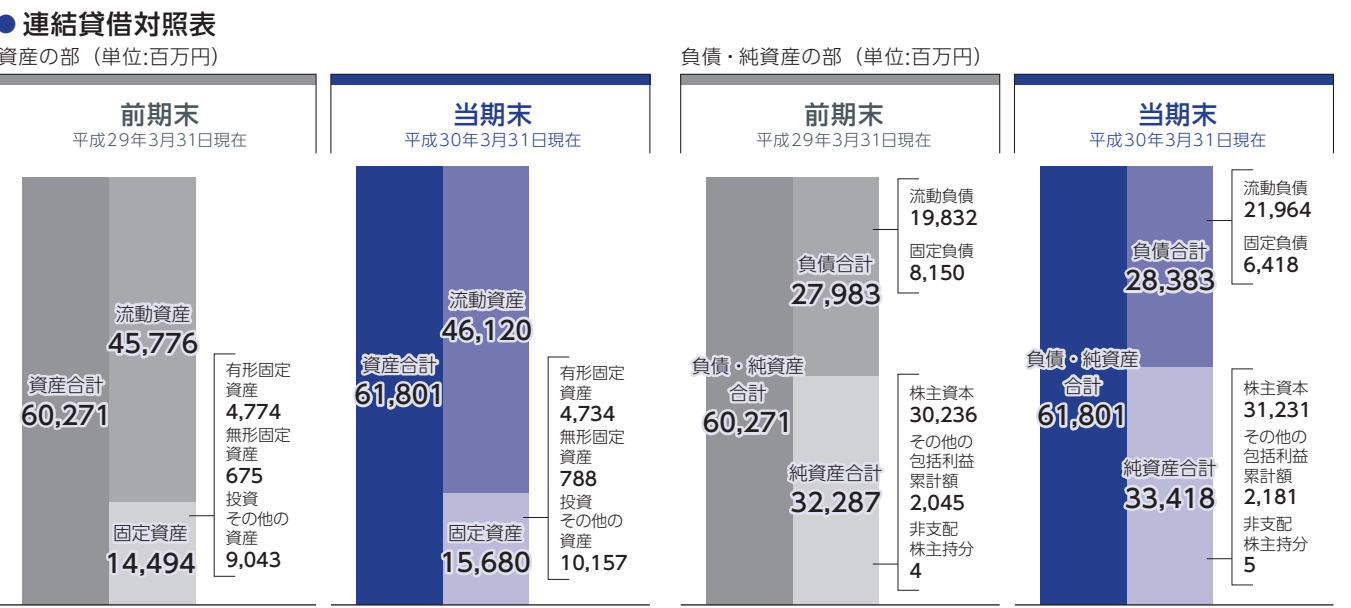
### 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日までの1年  
 定時株主総会の基準日 3月31日  
 剰余金の配当の基準日 期末配当 3月31日  
 中間配当を行うときは9月30日  
 単元株式数 100株  
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社  
 〒168-0063  
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社証券代行部  
 (電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)  
 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各地支店で行っております。  
 公告の方法 電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。なお、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。  
 ホームページ <https://www.yaginet.co.jp/ir/announce.html>

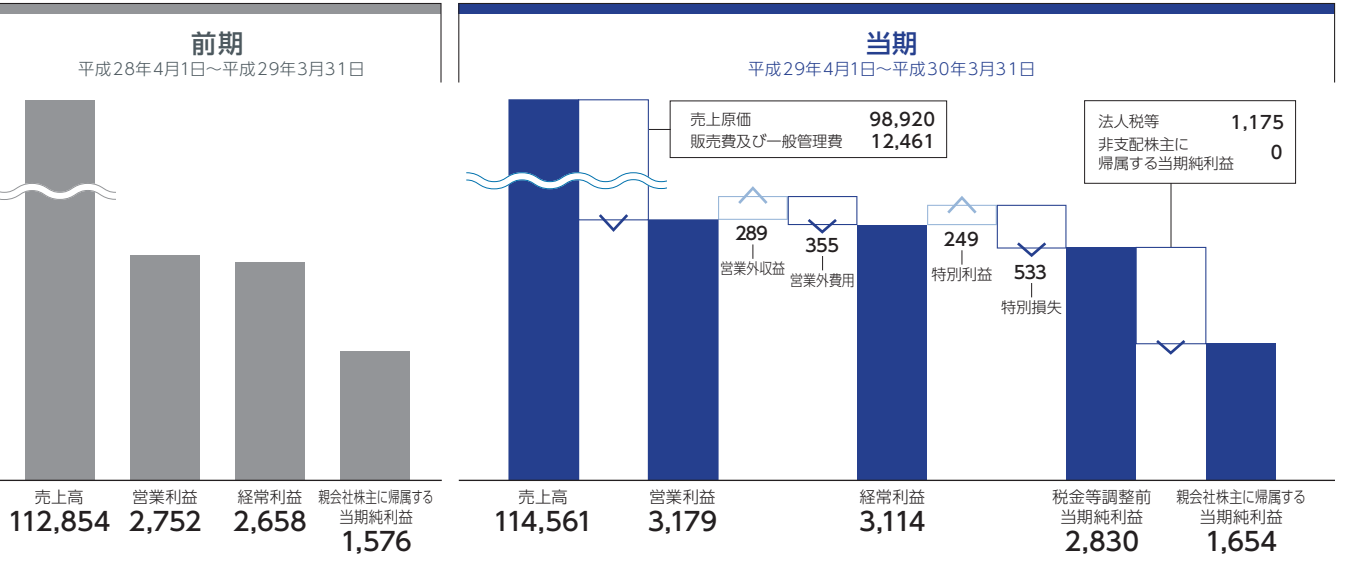
**【住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について】**  
 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

**【未払配当金の支払いについて】**  
 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

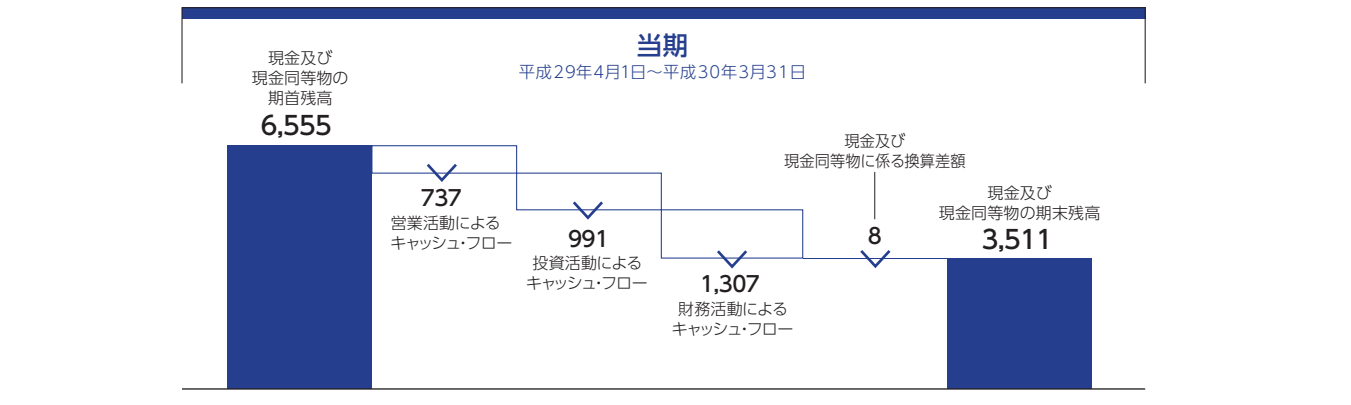
## ▶ 連結財務データ



### ● 連結損益計算書 (単位:百万円)



### ● 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)



## ▶ 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。私たちがヤギグループは厳しい経営環境下でも収益力を維持し、持続的な成長を実現するための経営指針として、2020年3月期を最終年度とする3か年の当社グループ中期経営計画「SPARKS 2020」(スパークス2020)を策定し、繊維・ファッション関連事業を展開しております。持続的な成長には、圧倒的な市場シェア(占有率)を持つ商権の獲得による差別化事業の確立が急務となるなかで、「総合力発揮の強化」「新領域への挑戦」「構造改革の実行」の3点を重点方針とし、「新しい商社像」を示せるリーディングカンパニーとなるべく挑戦し続ける意思を明確化しました。グループ間の相乗(シナジー)効果を最大化することにより、株主や投資家の皆様をはじめとする全てのステークホルダーに価値を創出できる企業体でありたいと考えています。

さて、第106期(平成30年3月期)連結会計年度の経営成績につきましては、衣料品販売の低迷が続くなかで、差別化商材の開発など収益力強化に注力した結果、前期比で増収増益を達成することができました。今年10月、当社は創業125年を迎えます。1893年(明

治26年)の創業以来築き上げてきた、信用と実績をさらに高めていくために、経営の効率性向上を目指し、いかなる環境下でも適正な利潤を上げられるビジネスモデルを構築してまいります。株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご理解、ご支援を賜りますよう、よろしく御願ひ申し上げます。平成30年6月

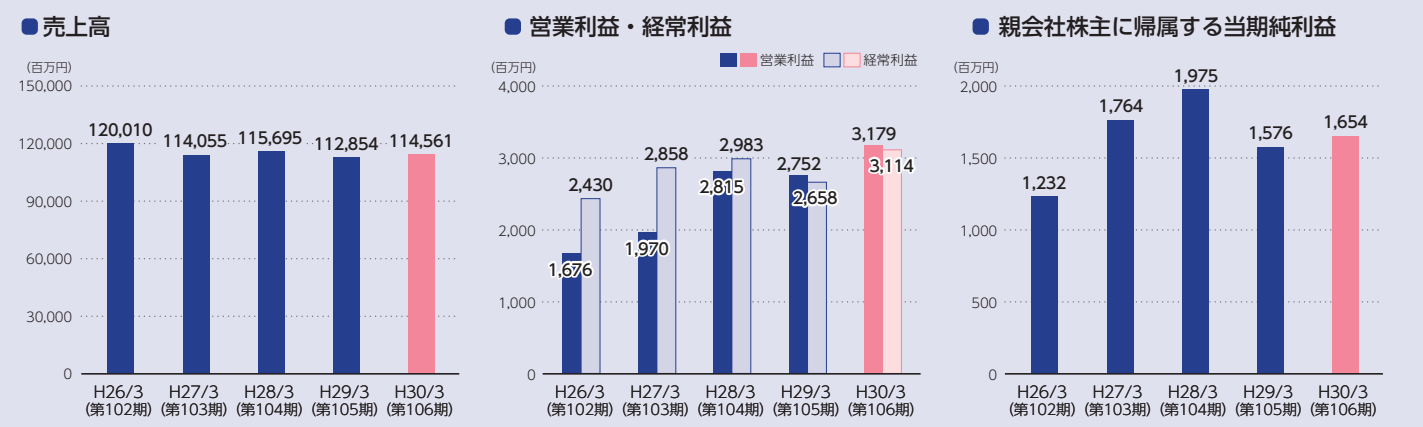


代表取締役社長 八木隆夫

### 配当について

配当につきましては、長期的な視野で安定した利益還元と、経営基盤強化のための内部留保充実をバランスよく行っていくことを基本方針としております。当基本方針に基づき、当期末配当金は1株につき47円とさせていただきます。また、次期の期末配当金は1株につき47円を予定しております。

## ▶ 財務ハイライト(連結)



▶ 分野別の概況

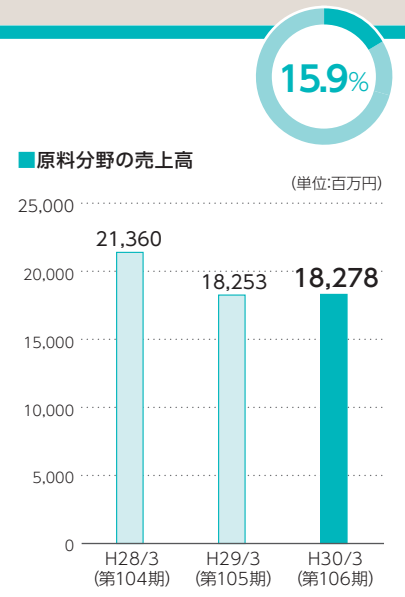
原料分野



原料分野は、天然繊維原料につきましては、衣料品需要の低迷による国内産地でのテキスタイル減産の流れが止まらず、誠に厳しい状況となりました。合成繊維原料は、独自の素材開発に注力した加工系販売がおおむね堅調であったほか、作業用手袋や車両内装材向け原料など高付加価値商材の需要も底堅く推移しました。

このような状況の下、テキスタイル分野との連携による相乗効果の創出を推進し、優良取引先との取り組み深耕や、生産集約による加工効率向上により、経費を圧縮し収益基盤の強化に努めました。

この結果、原料分野の売上高は18,278百万円(前期比0.1%増)となりました。



15.9%

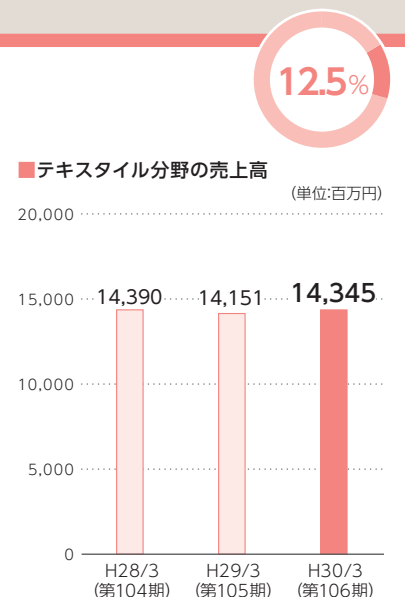
テキスタイル分野



テキスタイル分野は、中国が染色工場に対し環境保護のために操業規制を行ったため、一部で国内回帰も見られましたが、主力のニット生地や綿織物の販売は、衣料品需要低迷のあおりで苦戦しました。一方で特殊な機械や素材を使い付加価値の高い加工を施した差別化商材が収益を牽引しました。

このような状況の下、販売戦略の要である「テキスタイル・プロジェクト」において、素材企画力を活かした売れ筋商材開発やグループ会社との合同展示会開催による販売強化に努めました。また営業組織の変更に伴う原料分野との協業強化を意識しながら、戦略商材の開発に注力いたしました。

この結果、テキスタイル分野の売上高は14,345百万円(前期比1.4%増)となりました。



12.5%

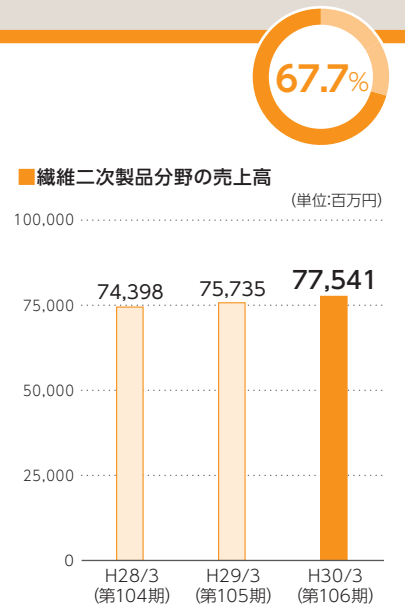
繊維二次製品分野



繊維二次製品分野は、秋以降の気温低下により冬物商戦で盛り上がり、一部の百貨店ではインバウンド需要の回復もあり復調傾向となり活気づきました。一方で大手量販店は衣料品販売に復調の兆しが見られず、また専門店や専門量販店では顧客の消費マインドがECサイトやリサイクル市場へと移りつつあるため店頭での販売は落ち込み、厳しい状況となりました。

このような状況の下、当社グループは、企画段階から請け負い、製造・供給するODM生産を推進する一方、原料・テキスタイル分野との協業やブランドビジネスの発想を取り入れた新規オリジナル商材の開発を加速し、市場での競争力強化に努めました。

この結果、繊維二次製品分野の売上高は77,541百万円(前期比2.4%増)となりました。



67.7%

(※売上高構成比はこの他に、繊維事業その他3.5%、不動産事業0.4%があります。)

Topics

株式会社ヤギは創業125年を迎えます

株式会社ヤギは、1893年の創業以来、繊維専門商社として大阪・船場に本社を置き、繊維ビジネスの発展に寄与してきました。長い歴史の中でヤギが守ってきたのは、社である「終始—誠意」とビジネス哲学である「堅実第一主義」です。

商社のビジネスは「信頼」で成り立っています。ヤギは社員一人ひとりが一貫して誠意をもってものごとにあたることによって、繊維産業に携わる人々の厚い信頼を得てきました。

125年の歴史の中では、繊維産業は幾度となく大きな変化を経験しました。その中であって、ヤギが常に第一線で活躍し続けてこられたのは、繊維専門商社としての強みを活かし、時代と社会の変化に敏感に対応しながらビジネスを展開してきたからに他なりません。



創業者初代社長  
八木 與三郎

「どうせはじめるのなら紡績糸の商売をやろう  
新しい事業というだけでも張り合いがある」

米穀商を営む家で生まれ育った創業者  
八木 與三郎の決心から125年。  
「終始—誠意」を貫き、皆の力、皆の積み重ねで今日を築き、  
明日を拓いてきた。  
創業1893年10月、資本金2万円であった。  
間口2間半(約4.5m)、家賃月8円25銭。  
ささやかな店舗だったが、これが当社の歴史の第一歩となった



**1893年10月**  
大阪市東区(現中央区)に  
綿糸商として創業  
(資本金2万円)



**1901年**  
新店舗落成、  
資本金10万円に増資



**1913年**  
店舗を洋館に改築、  
資本金50万円に増資

**1918年4月**  
綿糸・綿布の販売を  
目的として株式会社  
八木商店を設立  
(資本金300万円)

**1938年**  
杉道助第2代社長就任

**1940年**  
東京出張所(東京  
都中央区)を支店に  
昇格

**1944年**  
八木泰吉第3代社長  
就任

**1967年**  
創業75周年記念式典開催



**1972年**  
八木ビル(現本社ビル)  
竣工

**1984年**  
八木茂夫第4代社長  
就任

**1989年2月**  
「株式会社ヤギ」に  
社名変更

100<sup>th</sup>  
1993

**1993年10月**  
創業100周年記念  
式典開催(於ホテル  
ニューオオタニ大阪)

**1995年9月**  
大阪証券取引所市  
場第二部に株式上場

**2003年**  
八木秀夫第5代社長  
就任

**2013年**  
東京証券取引所と  
大阪証券取引所の  
統合により東京証券  
取引所市場第二部  
上場

**2014年8月**  
株式会社リープス  
アンドバウンズ(現  
TATRAS JAPAN株式  
会社)を子会社化

**2016年4月**  
イチメン株式会社を  
子会社化

**2016年6月**  
八木隆夫第6代社長  
就任

**2017年3月**  
ベトナムに子会社  
[YAGI VIETNAM  
COMPANY  
LIMITED]を設立

**2017年4月**  
山弥織物株式会社を  
子会社化

**2017年6月**  
有限会社アタッチ  
メント(現 株式会社  
アタッチメント)を  
子会社化

**2018年1月**  
東京支店を「東京  
本社」に改称し、大阪  
本社と合わせて二本  
社制に移行



▶ グループ企業一覧

連結子会社

- 日本パフ株式会社
- 株式会社ヴィオレッタ
- YAGI & CO.,( H.K. ) LTD.
- 株式会社マルス
- TATRAS JAPAN株式会社
- イチメン株式会社
- 山弥織物株式会社
- 株式会社アタッチメント

主な事業内容

化粧用パフおよび外衣製造  
編レース製造  
繊維製品およびその原料の輸出入販売  
不動産賃貸業  
衣料品の製造・販売  
アパレル向け生地・製品の企画販売  
燃糸・織物の製造・販売  
紳士服・婦人服および服飾雑貨のデザイン、製造および販売

非連結子会社

- 株式会社ソレイユ
- 日帕化粧用具(嘉善)有限公司
- 譜洛華時(上海)貿易有限公司
- 八木貿易(深圳)有限公司
- ピーティ サンダン マジュ レスタリ
- SOCIAL GARMENT LLC
- TATRAS SRL.
- 株式会社ストラダエスト

主な事業内容

編レース製造  
化粧用パフの製造  
繊維製品の販売  
原料・テキスタイルの販売  
繊維製品の販売  
衣料品の製造・販売  
衣料品の製造・販売  
衣料品の製造・販売

主な事業内容

- PROGRESS (THAILAND) CO.,LTD. 繊維原料・生地・繊維二次製品の輸出入・販売
- YAGI VIETNAM COMPANY LIMITED 衣料品の製造・販売

関連会社

- フジサキテキスタイル株式会社 テキスタイルの販売
- 株式会社グレイス キャラクター商品の企画・製造・販売